



# うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

## 大阪市生涯学習情報発信ウィーク

11月13日～19日まで「大阪市生涯学習情報発信ウィーク」として市内各施設や区役所、小学校で実施している生涯学習事業について紹介します。

大阪市では、地域における生涯学習の拠点として、市内の小学校の特別教室等を活用して、市民のみなさんの文化・学習活動や講座等の開設を通じた学習機会の提供を図る「生涯学習ルーム事業」を実施しており、今年で22年目を迎えました。日頃の各生涯学習ルームの活動成果発表と交流の場として、ステージ発表や、フォーラム、ブース展示などを行い、生涯学習ルーム事業について広く発信します。



**日時** 11月13日(土) 11:00～16:30 (10:30開場)  
14日(日) 10:30～16:30 (10:00開場)

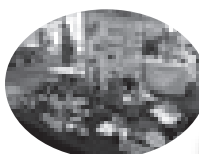
**会場** 大阪市役所1階シティーホール・市民ロビー (地下鉄・京阪「淀屋橋」、京阪「大江橋」)

**費用** 無料(一部教材費が必要)

**主催** 大阪市生涯学習推進員協議会・大阪市教育委員会

**問合せ** 6208-9027(生涯学習担当)

- 内容**
- ステージプログラム
    - 交流ステージ
    - ルーム活動発表ステージ
    - わんすてっぷ・フォーラム
  - 24区ふれあい広場
    - 24区のブースが並んで、各区での生涯学習の取り組みを紹介します。



昨年よりはじまった「24区ふれあい広場」(写真左)と、昨年も好評だった発表ステージ(写真右)  
※ともに昨年の「ルームふえすていばる」より

## 人権啓発事業

平成22年度人権啓発フェスティバルin大阪

### ハートフルおおさか2010

みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心～

人権をテーマにしたさまざまな展示やシンポジウムのほか、小錦八十吉さんのトークショーや平松愛理さんのライブなど、楽しいイベントが盛りだくさんです!

大阪会場テーマ: 一人ひとりを認めあうところ!!～大阪らしい「人権文化」を咲洲から～

**日時** 11月6日(土)・7日(日) 10:00～17:00

**会場** ATC(アジア太平洋トレードセンター)ホール及びその周辺施設

**入場料**: 無料

くわしくは大阪府府民文化人権室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.jp/annai/moyo/detail.php?recid=6591>

## 学びのキッカケ見つめませんか? ～自律と協働の生涯学習社会へ～

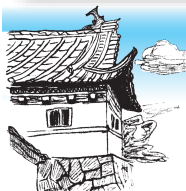
大阪市の生涯学習施策をパネルやチラシで紹介します。また、サロン企画(本誌P16)では、小惑星探査機「はやぶさ」の全容を語る企画や、橋爪節也さんをお迎えして開催する「描かれた中之島」など、「あなたの学び」のキッカケが盛りだくさんです!

**日時** 11月16日(火)～19日(金)  
9:00～17:30(19日は13:00まで)

**場所** 大阪市役所1階シティーホール

**主催** 大阪市教育委員会

**問合せ** 6208-9146(生涯学習担当)



## おおさか歴史探訪 ④

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 銅座の跡 — “工業都市大阪”の記念碑—

江戸時代、銅はわが国最大の輸出品でしたが、特に大阪は銅の生産が盛んでした。これは住友家をはじめとして、優秀な銅精錬技術をもつ銅吹屋がたくさんあったからです。そのため江戸幕府は銅の精錬と売買を統括する役所である銅座を大阪に置いたのです。最初は別の場所にあったのですが、明和3年(1766)にこの地(中央区今橋2丁目、地下鉄淀屋橋駅のすぐ東側)に新設され、明治元年(1868)まで続きました。貞享2年(1685)の史料によると、銅精錬に従事する職人は1万人ほどであり、関連する職人は数万人いたといえます。当時の大阪の人口は30万人余りと推定されますので、家族を含めると10人にひとり以上の相当な数といえることができます。

江戸時代後期の文人、狂歌師である大田南畝は幕府の役人でもあり、寛政13年(1801)から銅座に勤務しました。号を蜀山人といいますが、これは銅の異名を「蜀山居士」といったことによります。オランダ商館の医師であったシーボルトの一行が、江戸に赴く際にここに逗留したこともあったそうです。

この銅座跡には、現在明治34年に建設されたわが国最古の現役幼稚園舎、大阪市立愛珠幼稚園があり、国の重要文化財に指定されています。この10月23日(土)に、一般公開がありますが、基本設計を当時の主席保母がおこなったため、保母さんならではの視点でいろいろな工夫がなされていること、船場の人々が子弟教育のために労力を惜まず最高レベルの幼稚園を建設したことなど、見所は豊富ですので銅座跡の碑とともにぜひご見学ください。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

